

平本歩さん「訃報」

昨日 17 日、人工呼吸器ユーザーの平本歩さん「訃報」をネットで知った。今年 31 年目を迎える「バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる」事務局長の折田みどりさんは、次のように述べている。歩さんは「バクバクの会 創設者の一人」「人工呼吸器をつけて地域で暮らす扉を開いた第一人者でした。彼女の歩みは人々の道しるべとなり続けることでしょう。あなたはすごい！本当にすごい人でした」

名古屋市立大を退職する半年前に、人工呼吸器ユーザーで、地域の学校に元気に通う林京香さんと出会った。バクバクの会の賛助会員にもなった。歩さんのレポートを読んだ記憶があり、探してみると 2017 年 11 月発行『バクバク』121 号に掲載の「JR 西日本新幹線乗車拒否問題」を見つけた。歩さんとは神戸のバクバクの会総会でお会いしたが、話すことはできなかった。追悼の気持ちをこめて、歩さんのレポートをそのまま紹介する。

2017 年 3 月 11 日 12 日と東京に講演しに行く為、2 月 12 日に JR 尼崎駅に新幹線の予約電話をしました。いつものように新幹線に乗る希望日時を伝えたところ、車いすのサイズを聞かれ、サイズを伝えました。昨年 8 月にも新幹線を利用して東京へ行ったことを伝えましたが、ダメでした。今まで何の問題もなく新幹線を利用してきたのに、突然こんなことを言われ驚いたし嫌な思いをしました。2009 年にも JR 東海に同様のことを言われ問題解決したことを言いましたが、無理だった為、母に相談しました。結局、JR 東海に電話して予約しましたが、本来なら尼崎駅で切符を受け取れるのに、わざわざ新大阪駅に切符を取りに行かなければなりませんでした。

上記の件があった為、9 月 21 日、JR 西日本大阪支社に話し合いをしに行きました。こちらからは母と私、JR からは 4 人参加していました。最初に、お互いの紹介と私のコミュニケーション方法を伝え、名刺交換をしました。その後、4 人とも今回の対応について謝罪してくれました。私から「JR 西日本へのお願い」の文章を渡しました。そして、ストレッチャーのハンドルと足の部分を折り畳んでリクライニングをしているところを見てもらい、こうしたらオープン席にコンパクトに問題なく乗れることを伝えました。ご案内スリップを渡さないでほしいことも伝えました。今後、今回のような対応をしないようにすること、同意書を書くように言わないことを確約してくれました。最後にこちらから、JR 全職員に周知徹底と研修をしてほしいことを伝えました。確約してくれて安心したものの、今後の対応が怪しいですが、何の問題もなく乗れることを期待しています。



(2021 年 1 月 18 日)